



必修科目（赤字）は、履修するセメスターに配置しています。

選択科目（黒字）は、最も早く履修できるセメスターに配置しています。科目群の下の色の帯は、履修可能なセメスターを表しています。

卒業認定・学位授与の方針（DP）

1.1 知識・理解

核となる特定の知識体系を他領域の知識と関連づけながら修得し、変容するグローバル社会の諸問題を解決するために活用できる。

2.1 技能

適切な方法で収集した情報およびデータを活用できる。

2.2 技能

多様な言語を用いて、他者と意思疇通を行うことができる。

3.1 思考・判断・表現

修得した知識、技能ならびに経験を活かして、複眼的思考で自らの考えを論理的に組み立て、表現できる。

3.2 思考・判断・表現

自ら設定した主題について、収集した資料を客観的に分析しながら、批判的に考察できる。

4.1 関心・意欲・態度

変容するグローバル社会の諸問題に続縁的に関心を示し、その問題の解決のために粘り強く主体的に行動できる。

4.2 関心・意欲・態度

多様な他者と協働しながら、自律的な社会人として行動できる。

経済学科（専門科目）

科目区分	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
入門科目	日本経済入門 ビジネスデータの扱方 経営学総論 ビジネスための英語A	ビジネスデータの扱方 財政入門 金銭入門 マクロ経済入門 ミクロ経済入門	白書で学ぶ現代日本 京都のビジネスA 京都のビジネスB	初級演記I 社会政策入門 経済政策入門	京の企業I 京の企業II 京の企業III 企業実務A 企業実務B 企業実務C 企業実務D 海外事情A 海外事情B 海外事情C 海外企業実務A 海外企業実務B 海外企業実務C 海外企業実務D	1.1 2.1 3.1 3.2	卒業認定・学位授与の方針（DP）	1.1 知識・理解 経済学とその関連分野の学修を通じて、社会をとりまく諸現象に関する歴史的経緯や法則性を理解し、変容するグローバル社会の諸問題を解決するために活用できる。

